

2月11日実施 2020年度学年別大会新型コロナウイルス感染対策について

令和3年1月26日(火)

広島県高等学校体育連盟バドミントン専門部

競技委員長 池田 晋也

はじめに

今大会の実施に係る新型コロナウイルス感染防止対策としては、『広島県高等学校体育連盟主催大会新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(令和2年8月21日版)』に準じて行います。この別紙においてはコロナ禍における試合当日の流れで安全でスムーズな進行に係る重要な点について示しております。

1. 2/11(木・祝)シングルス・ダブルス共通事項

- 試合は無観客で開催。出場選手、監督、コーチ以外の入場は不可。
- 遠征の実施方法について、公共交通機関、貸し切りバス及び自家用車の利用等については各学校で検討、判断し実施すること。
- 午前中2年生(9時開場)午後1年生(12時30分開場)の試合を実施し体育館内入場者数削減、密を避ける。
- 観覧席へ座る際は、前後左右で連続しないように間隔を開けて着席すること(座席割当表配布)。
- 開会式・閉会式および表彰式は行わず、朝は開場、受付完了後放送によって諸注意のみを行う。
- 開場後、受付時に監督会議資料を配布し、棄権等の届け出をする。監督会議は行わない。
- 開場後、朝の公式練習は行わず、選手は当日の動きの詳細について放送で指示をするので入場したら所定の位置に着席し、放送があるまで待機すること。
- コールされた後、どちらか一方でもその日の1試合目の場合、試合前に審判計時の下5分間の練習を行うことができる。双方が2試合目以降の場合練習は行わない。シングルスの場合は相手選手と練習を行う。練習用シャトルは各校持ち寄りとする。
- 試合中には十分な距離を確保しながらマスクを外してプレーを行うが、試合以外の場面では必ずマスクを着用すること。
- 審判は敗者審判で行い、**線審については自分が試合を行う際にチームメイト(足りない場合は他校選手でも可)1名連れてくる。**午前、午後最初のコールの試合では、試合番号の遠い選手を中心に審判を指名する。
- 試合で敗退した選手は手指の消毒をし、自分の試合のスコアシート、バインダー、ストップウォッチ等審判用具を本部席まで運び、次の試合の審判用具受け取り、審判を行う。
- 敗者審判を終えた選手はチーム全員が競技を終えるまでは体育館内にいて審判や応援をすることができる。チームの全ての試合が終了したら、着席していた座席を除菌シートで拭いた後、速やかに会場から出ること。チームの集合もできるだけ会場外で行うこと。
- 定期的に試合を中断して換気を行う。
- 試合を待つ間は観客席の自身の席で待機すること。フロア出入口で待機をしない。
- 競技フロアへの出入りの度に、出入口で必ず手指の消毒を行うこと。
- 消毒液は本部で準備するが、各校で**除菌シートを必ず、消毒液もできる限り持参**すること。
- 定期的に入出口、階段、トイレなどを中心に館内の消毒を行う。
- 審判台は使用しない。線審にはイスを用意するが、試合の度に消毒を行う。
- 審判用紙への勝者サインは行わない。確認のため主審が勝者の氏名を記入すること。

- 試合中、ペアでの話は対面せず、周りに聞こえない程度の小声で行う。
- 個人の試合に用いる道具（ラケット・シューズ・ウエア等）の貸し借りは禁止とし、本人以外の者が触れることがないようにする。
- コーチングシートには、同チームの監督、コーチ、出場しているチームメイトが着席することができる。
- インターバル中の選手へのアドバイスは、選手と対面せず、距離をとって行うこと。
- 氷嚢や飲料は、選手が自分で用意しておき、自分で使用すること。チームメイトおよび顧問、コーチが届けることや、氷嚢を首に当てる行為は行わないこと。
- 声を出しての応援は禁止する。席を移動し、他校の使用している席や通路で応援をしないこと。
- 連続する試合には10分の間隔を空ける。